

学校関係者評価報告書

愛媛県立南宇和高等学校

学校番号(46)

評価実施日		令和3年2月24日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	尾崎 道広	農業関係者 農家	
	濱見 陽計	学識経験者 元小学校長	
	安岡 宏次	地域中学校長 愛南町立城辺中学校長	
	岩井 正一	地域代表 愛南町教育委員会学校教育課長	
	伊田 光洋	保護者代表 P T A副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営</p> <p>地域人材を活用した地域に開かれた学校づくりや毎日のホームページ更新、南高通信の定期発行、報道機関を通して学校の取組や生徒の活動が多く発信されており、高く評価できる。</p>	<p>次年度は総合的な探究の時間を活用し、地域理解や課題解決に学校全体で取り組む。ホームページの更新等、学校の魅力発信を全教職員が行う体制を整えたい。</p>
<p>2 学習指導</p> <p>家庭学習に取り組む生徒の意識が低い。生徒に具体的な目標を設定させ、進路実現につなげたい。オンライン授業は導入されたばかりの教育システムなので、活用方法を教員間で共有し分かる授業につなげてもらいたい。</p>	<p>タブレットやスマートフォン活用に向けた研修会の開催や情報の共有、一人一台端末や電子黒板導入によって教科の特性に応じた積極的な活用を促進する。</p>
<p>3 生徒指導</p> <p>身だしなみや挨拶などの生徒指導が行き届いている。学校行事も充実しており、部活動は限られた部員でよく頑張っている。防寒具などの校則については柔軟に対応してはどうか。</p>	<p>校則については生徒総会等で議論を交わし、生徒が前向きにルールを守る姿勢を身に付けさせる。部活動においては年間指導計画を整備し計画的に活動を行うことで全国大会等上位大会への進出を目指したい。</p>
<p>4 進路指導</p> <p>就職率・進学率ともに高く、しっかりとした指導がされている。保護者・生徒への類型選択の説明も十分行われている。キャリア教育を中高連携の取組によって充実できないか。</p>	<p>基礎学力の向上はもちろんのこと、面接指導や小論文指導などの個別指導もより一層充実させる。就職先のミスマッチが出ないように、就職ガイダンスや企業見学を活用する。</p>

<p>5 心の教育</p> <p>生徒の一人当たりの図書貸出冊数が1冊と少ないので、抜本的な改善が必要である。人権・同和教育は小中高の連携や地域の様々な人権について研修し、実感を持って語る指導者になってほしい。</p>	<p>不安や問題を抱える生徒の面談を積極的に行い、情報の共有をする。HR担任は研修会に積極的に参加して地域の実態を理解し、連携した活動を推進する。朝読書から読書の習慣化へ導けるように全校体制で取り組む。図書館に魅力的な本の設置を行い、貸出冊数増加を目指す。</p>
<p>6 地域連携</p> <p>コロナ禍で活動が制限される中、ボランティア活動、小中学校や地域との交流活動が活発にされており素晴らしい。特に農業科の活動は学校の特色の一つになっている。</p>	<p>農業体験を通じた小学校との交流を年間継続によって充実させる。高校の運動部が中心となって小中学校と連携した練習会へと発展させる。地域資源である愛南ゴールドを企業と連携し加工品を使ったPR活動をする。</p>
<p>7 業務改善</p> <p>ノー残業デーは職員の意識改革のためにもよいことだと思われる。業務改善につなげていただきたい。生徒に清掃の目的を再度確認するとよい。</p>	<p>仕事の効率化、タイムマネジメント、ワークライフバランスなど、教職員個々の意識改革を促す。清掃は美化委員からの呼びかけの工夫と担当教員の具体的な指示によって意識向上を図る。</p>